

## 令和元年度 強度設計システム研究室卒業論文公聴会

■日時：令和2年 年2月6日(木)

■場所：13L

■発表プログラム（発表 15 分，質疑応答 5 分）

No.	時刻	氏名	題目
1	9:00 ~ 9:20	長尾琢己	電磁鋼板打抜き材の疲労強度に及ぼす残留応力の影響
2	9:20 ~ 9:40	佐川航平	電磁鋼板の打ち抜き材の残留応力と疲労強度に関する研究
3	9:40 ~ 10:00	高澤謙介	X線応力測定装置にかかわる治具開発
4	10:00 ~ 10:20	曾雌晟	ラマン分光法による非晶質高分子材料のひずみ測定
5	10:20 ~ 10:40	坂本隆一	表面粗さが X 線応力測定に及ぼす影響
	10:40 ~ 10:50	休憩（10分）	
6	10:50 ~ 11:10	関口常松	金属材料における X 線転位密度解析(1) ~粉末編~
7	11:10 ~ 11:30	増田憲市朗	金属材料における X 線転位密度解析(2) ~疲労試験編~
8	11:30 ~ 11:50	田中響	金属材料における X 線転位密度解析(3) ~引張試験編~
9	11:50 ~ 12:30	高田海斗 西島秀一	微細粒ステンレス鋼の変態・変形機構解析
	12:30 ~ 13:10	昼休憩（40分）	
10	13:10 ~ 13:30	吉野智貴	中性子応力測定法における基準格子定数決定法の確立
11	13:30 ~ 13:50	小島翼	ショットピーニング条件と表面性状の関係の解明
12	13:50 ~ 14:30	清水智貴 中嶋宙	Fe-Ga 合金単結晶の磁歪特性評価
13	14:30 ~ 14:50	奥茂直規	ショットピーニングを施したチタン合金の残留応力測定